

## 執筆者紹介

まちだ としひこ  
町田 俊彦 本学経済学部教授

### 〈編集後記〉

月報10月号をお届けいたします。本号は、社研・特別研究助成「若年・青年層の不安定就労ならびに社会保障制度の現状」の2011・2012年度報告(1)です。地方自治体が主体となった地域雇用政策がここ10年ほどの間に積極化してきた背景・契機・動向をおさえた上で、その先進自治体と位置づけられる大阪府豊中市の事例研究です。ニュータウンの高齢化問題は全国共通の社会的課題ですが、これを積極的建て替え(例えばバリアフリー化など)等によって克服しようとする豊中市・千里ニュータウンの事例も紹介され、同市の財政、行財政改革の実情が克明に分析された上で、同市の雇用・就労支援事業の中核二本柱としての地域就労支援センターおよび無料職業紹介所の設置(全国的にみても先進的な「豊中版ハローワーク」)が紹介されています。そしてこれが、生活保護や障害者福祉といった福祉部門との連携として展開されていること、すなわち、自立支援という福祉領域における効果として捉えた上でさらに、これを雇用労働部門の財源の強化という側面としても評価されています。被災地復興研究を専らとする私にとって、「中核都市創造＝特例市構想」が思うように進まず、合併後遺症(?)を抱えたところで被災してしまった、石巻市の劣悪な復興行財政環境、これがショックドクトリンとまで言われている様相を想起しながら、豊中市の事例報告を拝読いたしました。(J)

---

2012年10月20日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

(発行者) 町田 俊彦

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---